

ベトナムで産業・観光PR

川崎市、展示会に出展

川崎市は9月24、26日、ベトナム商工省が同国南部のバリア・ブントウ省で開く商工・観光展示会に出展する。市はバリア・ブントウ省と経済産業交流の覚書を交わしており、ベトナムへの販路開拓や工場進出を検討している市内中小企業に同行参加を呼びかける。川崎の観光物産をPRする

るほか、現地企業向けに市内企業を紹介し、提携をあっせんする。展示会はベトナム南部の20省が持ち回りで、毎年ベトナム国内で開催している。2014年にロンアン省で開いたときは225社が参加。延べ15万人が来場し、約1億5000万円の商談が成立した。今回のバリア・ブ

タウ省での開催では海外勢に初めて参加を呼びかけ、日本の企業、団体、自治体に50アース(小間)を無料で提供する。川崎市は8月28日の締め切りで市内の製造、環境技術、農業機械、日用品などの企業の参加を募集する。

バリア・ブントウ省はホーチミン市に接する海側の地方で、リゾート観光や水産業でにぎわう。1人当たり国内総生産(GDP)は14年に約5800ドルと、2位のホーチミン市の約3000ドルを大きく引き離してベトナムの地方で1位。

側